

www.syabi.com

写真家 堀野正雄の世界

幻のモダニ



スタート 2012 3/6 火 - 5/6 日



東京都写真美術館 3階 展示室

〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内 Tel.03-3280-0099

【主催】東京都 東京都写真美術館 / 読売新聞社 / 美術館連絡協議会

【協賛】ライオン株式会社 / 清水建設株式会社 / 大日本印刷株式会社
株式会社損害保険ジャパン

【観覧料】一般 700 (560) 円 / 学生 600 (480) 円 / 中高生・65歳以上 500 (400) 円

※ () 内は20名以上の団体料金 ※小学生以下、障害者手帳をお持ちの方とその介護者、東京都写真美術協会の会員は無料 ※第3水曜日は65歳以上は無料

【開館時間】10:00~18:00 (木、金は20:00まで) 入館は開館の30分前まで

【休館日】毎週月曜日 (月曜が祝日の場合は開館、翌火曜日が休館) ※ただし5/1 (火) は開館します



【表】上より
《画》1936年
《女学生の行進》(部分) 1937-39年
《優秀船に関する研究》(部分) 1930-31年
【裏】上より
《映画会社の女性事務員》1936-38年
《食卓》1932年
《ポーズ》(複製画) 1931年

堀野正雄 (1907-1998) は新興写真の旗手として、日本の近代写真の成立と展開を語る上で欠かすことのできない写真家として名前は知られていますが、その実際の活動の軌跡と評価、位置づけはこれまで不十分なものでした。しかし近年、写真史はもとよりデザイン史やメディア史の若い研究者たちが強い関心を寄せており、その成果も見えはじめています。本展は、幻といっぴ堀野正雄の仕事の全体像を明らかにすることによって、1930年代を中心とする写真史にあつたなヴィジョンを構築する展覧会です。

本展では、1920年代の築地小劇場を中心とする舞台写真やポートレート、舞踏家の写真にはじまり、写真集『カメラ・眼×鉄×構成』、『犯罪科学』誌を中心とするグラフィック、『NIPPON』や『主婦の友』などの雑誌に発表した報道写真など、戦前の堀野正雄の活動を、遺族の所有するオリジナル・プリント約100点を中心に、関係資料など合わせて約200点で堀野正雄の軌跡を一望します。日本写真史に重要な位置を占める堀野の全貌を明らかにする初めての展覧会であると同時に、若い世代にも注目されているモダニズムの感覚を十二分に堪能できることでしょう。

【担当学芸員によるフロア・レクチャー】

会期中の第2、第4全曜日16時より担当学芸員の展示解説を行います。

※本展覧会チケットの半券(当日消印)をお持ちの上、

展示室前にお集まり下さい。

【展覧会イベント】

シンポジウム「堀野正雄の現代的意義」

4月21日(土) 18:00-20:00 東京都写真美術館1階ホール

www.syabi.com

東京都写真美術館

〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内

Tel. 03-3280-0099 www.syabi.com



● 東京都目黒区三田1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内
● 当館には車庫がありません。お車でのご来館の際は近隣の有料駐車場をご利用下さい。

